

いしのとうこふん

石ノ塔古墳 発掘調査

現地説明会資料

浜松市文化財課

2021年2月13日

浜松市西区伊左地町に所在する石ノ塔古墳は、以前より土が高く残されていることから古墳と認識されてきましたが、これまでに発掘調査が行われたことはなく、その実態は不明でした。

浜松市文化財課では石ノ塔古墳の発掘調査を12月から実施しています。発掘調査の結果、石ノ塔古墳は7世紀前半に単独で築かれた推定の直径15~16mの円墳で、擬似両袖式という形態の横穴式石室を埋葬施設とすることがわかりました。

浜名湖の東岸域は古墳や古墳時代の集落跡の数が少なく、発掘調査もあまり行われていません。今回の調査は当該期における浜名湖東岸域の様相を探る上で貴重な成果といえます。

【立地環境】

浜名湖の東岸域は古墳が少なく、各地域に少しずつ点在している程度ですが、根本山の周辺には多くの古墳が築かれています。

石ノ塔古墳は、三方原台地西端部の細長い丘陵上に立地しています。丘陵には小さな谷がいくつも入り込んでおり、複雑な地形をしています。

7世紀頃の古墳は多くが群集して築かれますが、石ノ塔古墳の周辺に他の古墳は確認されず、単独で築かれたと考えられます。



調査地の空中写真（北東から） 奥に浜名湖を望む

浜名湖東岸域の古墳分布

【墳丘と外部施設】

墳丘の裾は後世に全て削り取られていましたが、墳丘の中心部が約1.5mの高さで残っており、石を組んで造られた埋葬施設（横穴式石室）が発見され、墳丘の盛土方法などの築造過程がわかりました。

また、古墳の周りをめぐる溝（周溝）や、その周溝からのびる溝（墓道）の一部が確認できました。



1：調査前の墳丘 際に建っていた小屋を撤去し、生い茂っていた竹を伐採した状況。



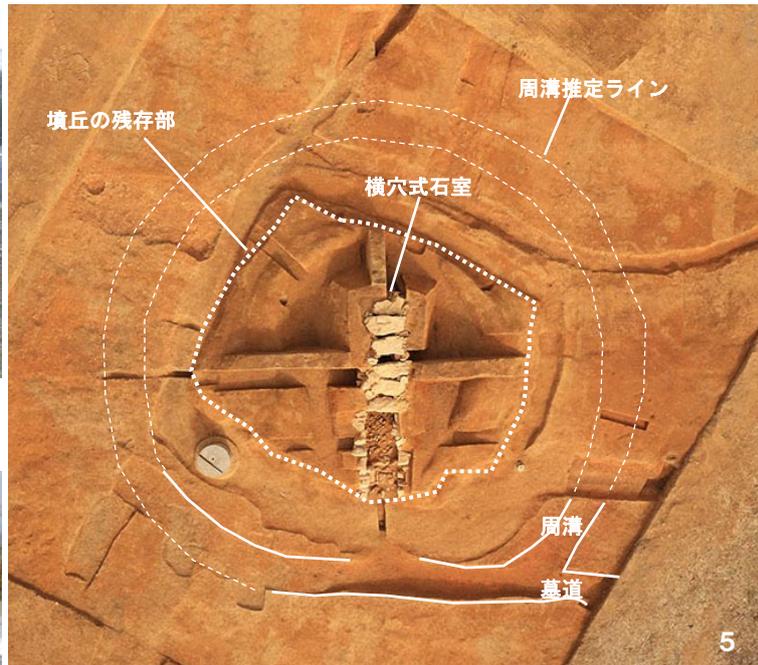
2：表土除去後の墳丘 墳丘の周囲は大きく削り取られていた。南側に石室の石材が確認された。



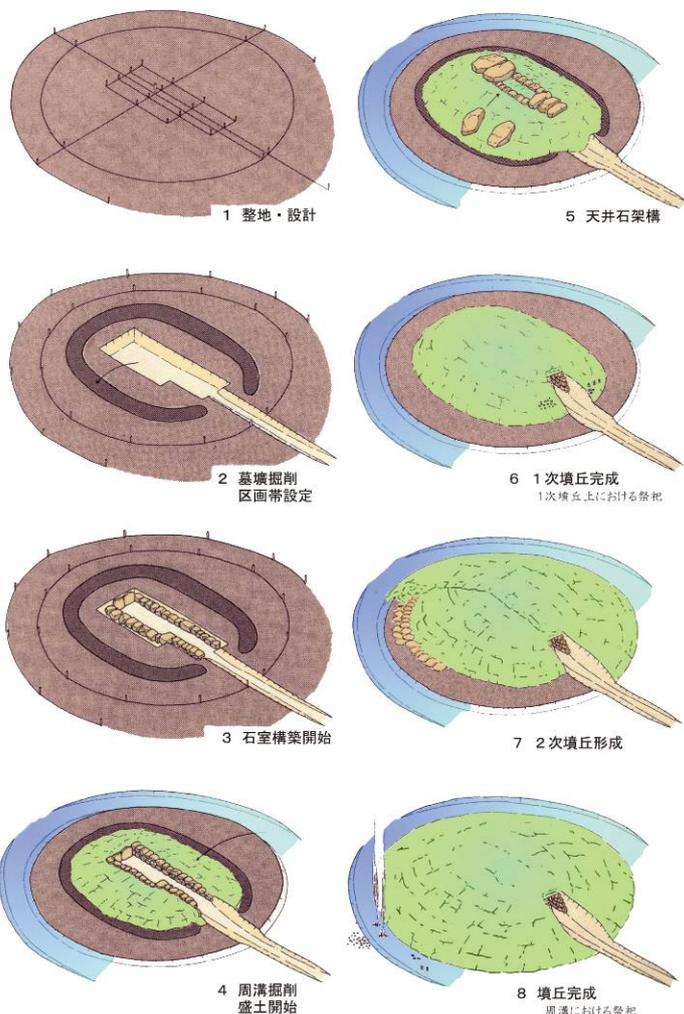
3：墳丘盛土除去後の墳丘 土層観察用ベルトを残して古墳時代の地表面まで掘削。石室が確認された。



4：墳丘断面 墳丘中心部の盛土は、石室の石を積み上げるのと同時に細かな単位で盛られていた。



5：空中写真 周溝は古墳南側のみで確認され、墓道は東側の谷に向かってのびていることが確認された。墳丘の規模や形は不明だが、盛土残存部の状況や、周溝の形状などから、直径15～16m程度の円墳と推定できる。



墳丘の構築過程 モデル：宇藤坂A6号墳

【埋葬施設】

墳丘の中央部に、石で築かれた横穴式石室が確認されました。石室の開口部付近（南側）は後世に破壊されており、天井部や壁面、床面も変状がみられるものの、比較的石材は残存していました。

石室の構造は、奥より埋葬部（玄室）・通路（羨道）・入口部（前庭）に分けられ、玄室・羨道の各入口（玄門・羨門）の両側面には柱状の石（立柱石）が配されています。この石室形態は「擬似両袖式」と呼ばれており、在地の横穴式石室に多くみられる特徴です。

石室全体の現存長は7.2mで、玄室の規模は長さ3.6m幅1.2m高さ1.5m、羨道の長さは2.2mです。



6：横穴式石室 前庭の南側は失われていたが、全体的に石材がよく残っている。天井石は玄室上に残っていたが、羨道上では失われている。



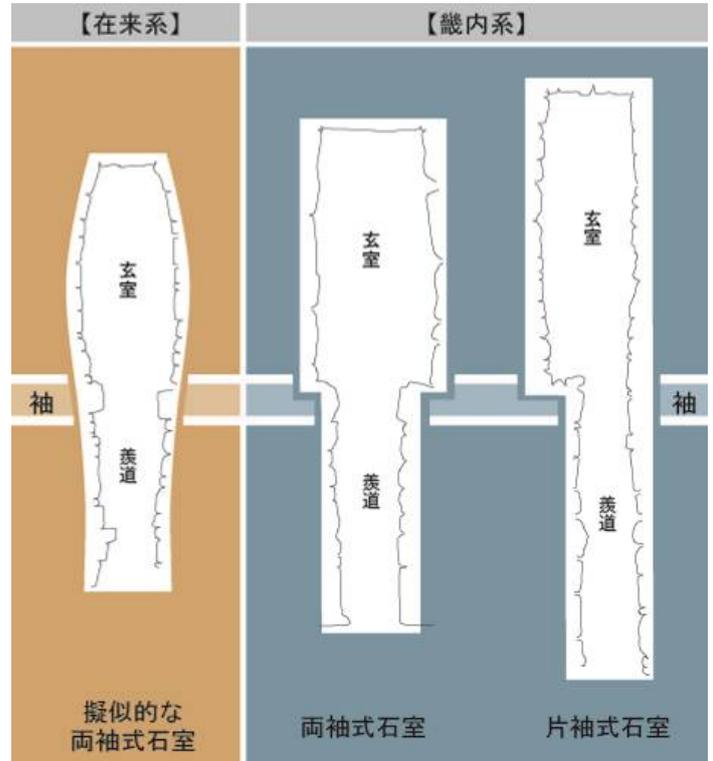
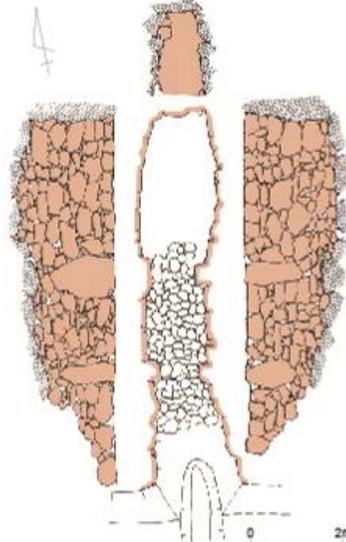
7：天井石 天井石は6つ残っていた。羨道方向に向かって弧をえがくように下がっており、玄門上では一段低くなっている。



8：天井石撤去後の石室 側壁は上に向かうにしたがって内側にせり出すように積む持ち送りの技法がとられている。



9：玄室の調査 床面には川原石が敷かれており、奥壁付近からは鉄刀・鉄鏃・耳環等が出土した。



横穴式石室の形態 畿内に系譜をたどることのできる片袖式・両袖式の石室は玄室が方形を呈し、幅の狭まった羨道を有する。一方で在来系の擬似両袖式の石室は、玄室中央の幅が広い胴張り状を呈し、袖の部分は柱状の石材を張り出させるのみで、玄室と羨道に明瞭な幅の差はみられない。

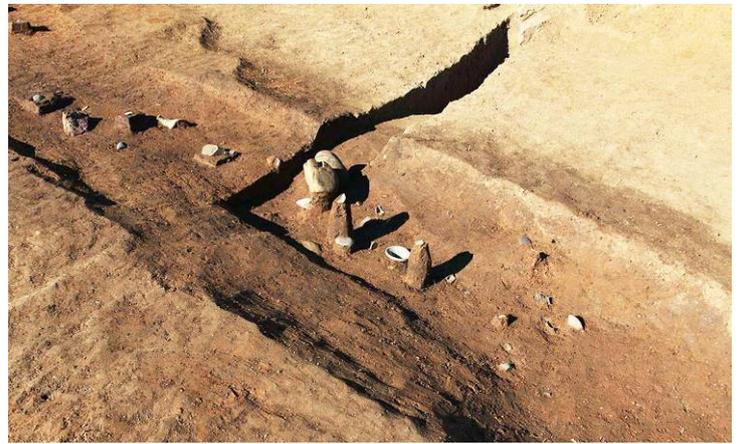
左：類似する石室形態（北区都田町 市指定史跡 見徳古墳）
都田総合公園北側の墓地内に保存されている直径11mの円墳で、石室内部に入って見学することができる。

石室形態は立柱石が玄門・羨門の2箇所に設けられた擬似両袖式で、規模も含めて石ノ塔古墳と類似している。

【出土遺物】

羨道や墓道・周溝などから7世紀前半頃の土器（須恵器・土師器）が出土しました。羨道出土の土器は埋葬時に供えられたものと考えられることから、この古墳における埋葬時期を示すものといえます。

玄室内部は現在調査中ですが、副葬品として鉄刀・鉄鏃・刀子・耳環が出土しています。鉄刀と鉄鏃は奥壁の東隅付近から集中的に出土しており、埋葬時に置かれた位置を示している可能性があります。



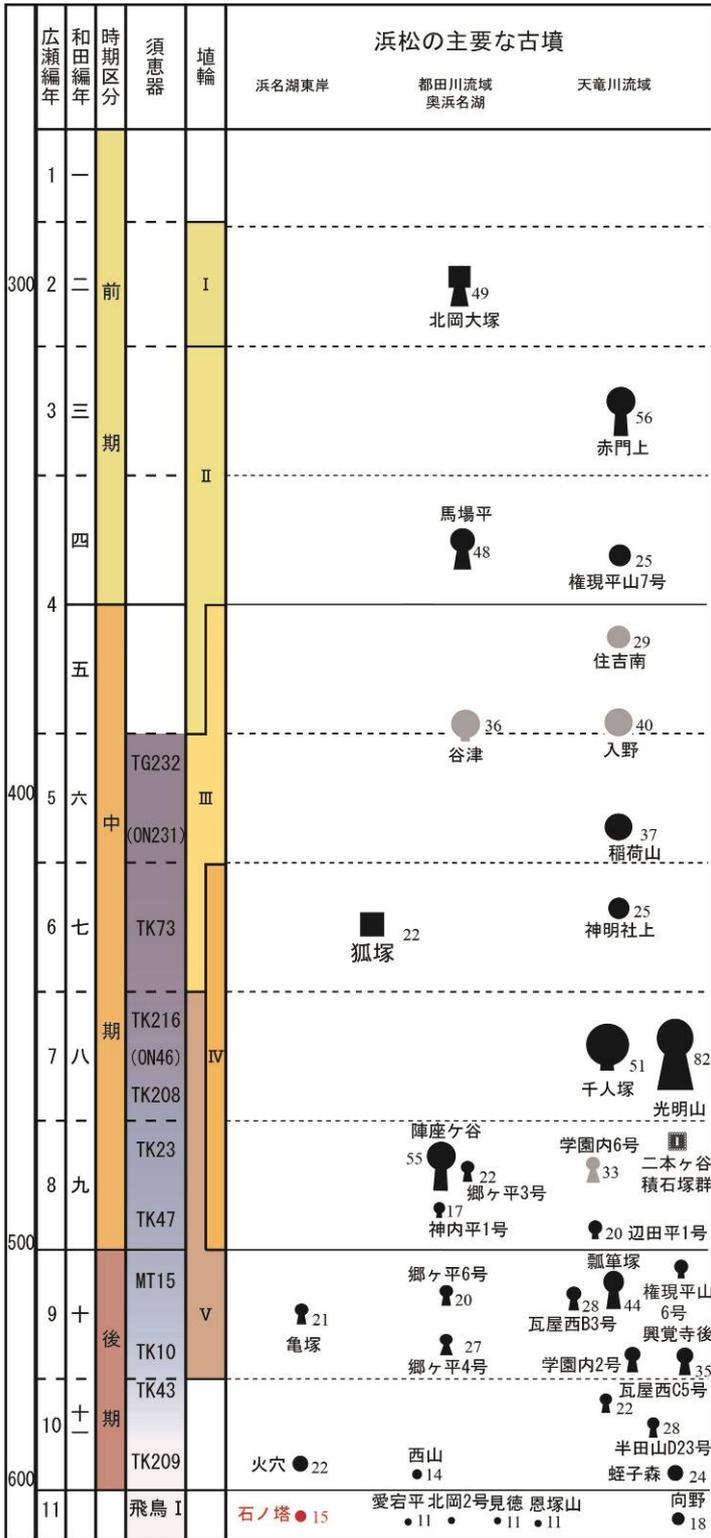
周溝・墓道の遺物出土状況



羨道の遺物出土状況



玄室の副葬品



横穴式石室の導入

編年根拠が乏しい古墳

～お願い～

■新型コロナウイルス感染対策（マスク着用、検温、消毒、連絡先確認等）にご協力ください。また、2週間以内に発熱等体調不良のある方、感染者と濃厚接触の疑いのある方はご遠慮ください。なお、少人数ごとでご案内するため待ち時間が生じることがあります。

■現地は凹凸がありますので足元には十分ご注意ください。また、盛土に登るなど定められた場所以外への立ち入りは危険ですのでおやめください。

■本現地説明会以外での現地の公開は原則として行っていませんので、ご了承ください。

■報道や市の刊行物、SNS等で現地説明会の様子を公開する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■撮影は可能ですが、画像・映像等を公開する際には他の来場者のプライバシー保護等に十分ご注意ください。